交付運用報告書

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

いちよし・グローバル株式ファンド【愛称：いちばん星】

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：いちばん星

2023年６月13日から2024年６月10日まで

第 2 期　決算日：2024年６月10日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。
当ファンドは投資信託証券（上場投資信託証券（ＥＴＦ）を含む）への投資を通じて、日本を含む世界の割安株や中小型株等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。
今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

当期の状況

基準価額（期末）	14,655円
純資産総額（期末）	42,138百万円
騰　落　率（当期）	＋28.4％
分配金合計（当期）	0円

※騰落率は、分配金（税引前）を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

三井住友DSアセットマネジメント
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
https://www.smd-am.co.jp

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
コールセンター　0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書（全体版）」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について（2023年６月13日から2024年６月10日まで）

基準価額等の推移

※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期　首	11,411円
期　末	14,655円 （既払分配金0円（税引前））
騰 落 率	＋28.4% （分配金再投資ベース）

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金（税引前）を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。（以下、同じ）

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因（2023年６月13日から2024年６月10日まで）

当ファンドは、投資信託証券（ＥＴＦ（上場投資信託）を含む）への投資を通じて、日本を含む世界の割安株や中小型株等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

投資対象とする国・地域（米国、欧州、日本および新興国）の配分にあたっては、いちよし証券の助言を活用しました。

実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

●好調な景気を背景にグローバル株式が再評価され、上昇したこと
●金利差の拡大により、米ドルが円に対して上昇したこと

下落要因

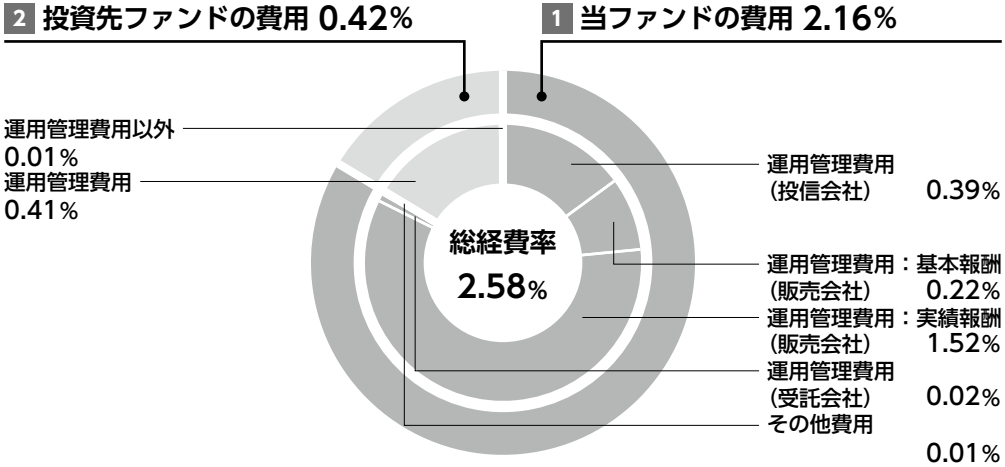
●景気が好調なことを背景に各国中央銀行の利下げ期待が後退し、株式市場が下落する局面があったこと

１万口当たりの費用明細（2023年６月13日から2024年６月10日まで）

項　目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬(基本報酬)	81円	0.623%	**信託報酬（基本報酬）＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数）** **期中の平均基準価額は12,952円です。** 投信会社:ファンド運用の指図等の対価 販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(投信会社)	(50)	(0.383)	
(販売会社)	(28)	(0.219)	
(受託会社)	(3)	(0.022)	
(b) 信託報酬(実績報酬)	196	1.513	**信託報酬（実績報酬）＝（実績報酬控除前の基準価額－ハイ・ウォーター・マーク）×5.5%（税抜き５%）** 実績報酬:ファンドの運用実績に応じ販売会社が受け取る報酬
(c) 売買委託手数料	4	0.029	**売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数** 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(－)	(－)	
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(4)	(0.029)	
(d) 有価証券取引税	0	0.000	**有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数** 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(－)	(－)	
(公社債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(e) その他費用	1	0.010	**その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数** 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用
(保管費用)	(0)	(0.002)	
(監査費用)	(1)	(0.007)	
(その他)	(0)	(0.002)	
合計	282	2.175	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。
※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1＋2)		2.58%
	1 当ファンドの費用の比率	2.16%
2	投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.41%
	投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている外国投資信託証券)の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている国内投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、「1万口当たりの費用明細」をもとに、投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れているETF)の費用は、経費率または信託報酬率で、全額を運用管理費用としています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

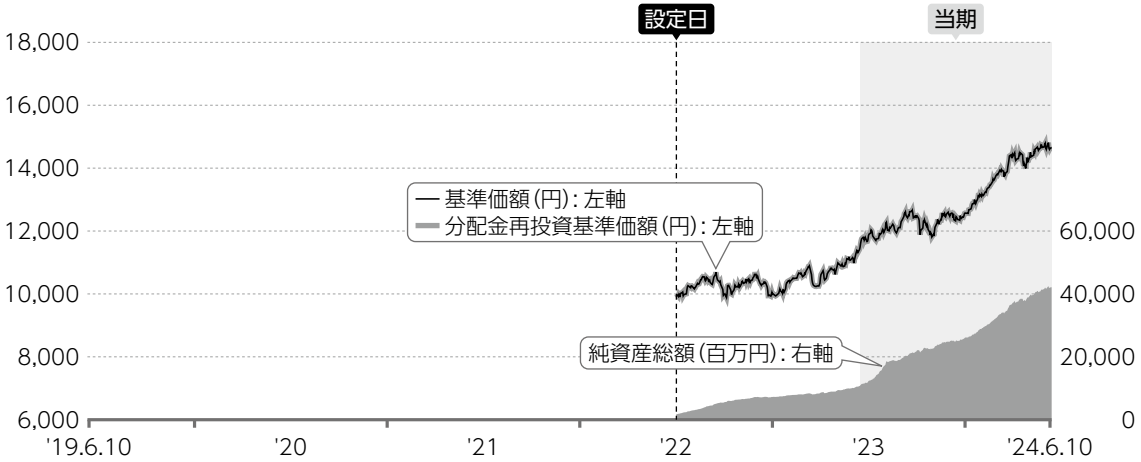
※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は2.58％です。

最近５年間の基準価額等の推移について（2019年６月10日から2024年６月10日まで）

当ファンドは、ファンド設定後５年間を経過していないため、設定日（2022年６月30日）以降の情報を記載しています。

最近５年間の推移



		2022.6.30 設定日	2023.6.12 決算日	2024.6.10 決算日
基準価額	（円）	10,000	11,411	14,655
期間分配金合計（税引前）	（円）	－	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	（%）	－	14.1	28.4
純資産総額	（百万円）	1,766	10,712	42,138

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について（2023年６月13日から2024年６月10日まで）

日本および欧米の株式市場は上昇しました。為替市場では、米ドル、ユーロ共に対円で上昇しました。

日本株式市場

日本株式市場は上昇しました。日本銀行の金融緩和策の継続や、国内経済の改善期待、さらには割安感による海外資金の流入が押し上げ要因になりました。

欧米株式市場

欧米株式市場は上昇しました。各国のインフレ動向とそれに対応した中央銀行の金融引き締め動向は、重石となりました。しかし、インフレの鈍化が意識されて徐々に値を切り上げる展開となりました。

新興国株式市場

新興国株式市場も上昇しましたが、相対的には日本株や先進国に出遅れました。中国の不動産問題が重石となった上に、中南米諸国の金融政策が高いインフレ率を背景に引締め気味であったことも背景にあると思われます。一方で、インド株式などのパフォーマンスが下支えとなりました。

為替市場

期末の米ドル円は、期初と比較して米ドル高・円安となりました。日米金利差の拡大や日本銀行の金融緩和策の維持等が影響しました。

また、ユーロ円も期初と比較してユーロ高・円安となりました。インフレ鈍化による実質金利の上昇が影響しました。

ポートフォリオについて（2023年６月13日から2024年６月10日まで）

当ファンドは、日本を含む世界の割安株や中小型株等に投資を行いました。実際の運用は、投資信託証券（ＥＴＦを含む）への投資を通じて行いました。また、投資対象とする国・地域（米国、欧州、日本および新興国）の配分にあたっては、いちよし証券の助言を活用しました。

各国・地域（米国、欧州、日本および新興

国）への投資配分比率は、株価のバリュエーション（投資価値評価）分析に基づいた割安度等を基に決定し、３ヵ月毎に見直しました。ただし、地域配分目標（現金部分を除く）は、期中を通じて、概ね日本57％、米国21％、欧州６％、新興国16％を維持しました。

保有しているＥＴＦおよび投資信託は、日本株（バリュー、中小型株）、米国株式、欧州株式（バリュー、小型）、新興国株式です。

参考情報　実績報酬について

当ファンドの信託報酬では、ファンドの純資産総額に一定率を乗じた基本報酬のほか、運用実績に応じてハイ・ウォーター・マーク方式により実績報酬をいただきます。

当期の１万口当たりの実績報酬は196円となりました。

ハイ・ウォーター・マークとは

実績報酬を算出する際の基準となる価額です。

実績報酬＝（実績報酬控除前の基準価額－ハイ・ウォーター・マーク）×5.5％（税抜き５％）

基準価額とハイ・ウォーター・マークの推移

ベンチマークとの差異について（2023年６月13日から2024年６月10日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2023年６月13日から2024年６月10日まで）

（単位：円、１万口当たり、税引前）

項　目	第２期
当期分配金	0
（対基準価額比率）	（0.00％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	4,654

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

地域配分目標（現金部分を除く）は、日本57％、米国21％、欧州６％、新興国16％としています。

日本株は引き続き先進国において相対的に割安な状況であること、日銀の緩和的金融政策の継続等を勘案しています。

また、先進国株式の配分は米国における高インフレ、ＦＲＢ（米連邦準備制度理事会）の金融引き締めによるリセッション（景気後退）懸念等を勘案しています。

新興国株は、引き続き先進国株に対しアンダーパフォームが続いている点、高水準であるコモディティ（商品）価格の恩恵を受けられる点、中国は不動産問題がありますが、政府による対策もあり割安感が出始めていることを勘案しています。

3 お知らせ

約款変更について

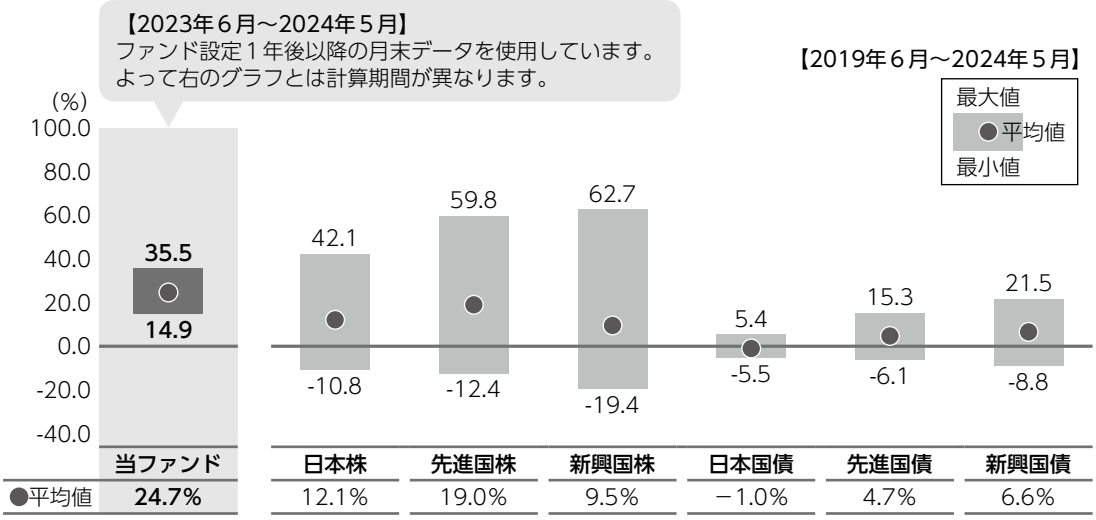
●信託期間を無期限とすることに伴い、信託約款に所要の変更を行いました。

（適用日：2023年９月８日）

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限（設定日：2022年６月30日）
運用方針	投資信託証券（上場投資信託証券（ＥＴＦ）を含む）への投資を通じて、日本を含む世界の割安株や中小型株等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 **ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー ＵＳ・コア・エクイティ・ファンド（ＵＳＤアキュムレーション・シェア）** 米国の株式等（預託証書を含む） **ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー ヨーロピアン・バリュー・ファンド（ＵＳＤアキュムレーション・シェア）** 欧州のバリュー株式等（預託証書を含む） **ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー ヨーロピアン・スモール・カンパニーズ・ファンド（ＵＳＤアキュムレーション・シェア）** 欧州の小型株式等（預託証書を含む） **いちよし日本中小型株ファンド（適格機関投資家専用）** いちよし中小型株マザーファンド **ＳＭＤＡＭ日本株ＥＶＩハイアルファ（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家専用）** 日本株ＥＶＩハイアルファマザーファンド **ディメンショナル・エマージング・コア・エクイティ・マーケット・ＥＴＦ** 新興国市場の株式
当ファンドの運用方法	■主として、日本を含む世界の割安株や中小型株等に投資を行います。 ■投資対象とする国・地域（米国、欧州、日本および新興国）の配分にあたっては、いちよし証券の助言を活用します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年１回（原則として毎年６月10日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。（基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近１年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。
※当ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。
※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	**ＴＯＰＩＸ（東証株価指数、配当込み）** 株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	**ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（グロス配当込み、円ベース）** MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	**ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（グロス配当込み、円ベース）** MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	**ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（国債）** 野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	**ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）** FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	**ＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）** J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。
※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

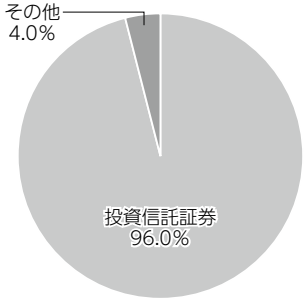
当ファンドの組入資産の内容（2024年６月10日）

組入れファンド等

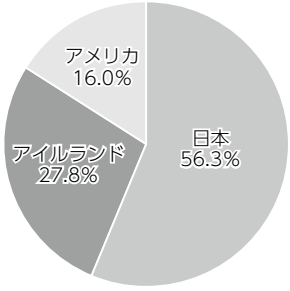
銘柄名	組入比率
ＳＭＤＡＭ日本株ＥＶＩハイアルファ（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家専用）	27.9%
いちよし日本中小型株ファンド（適格機関投資家専用）	26.2%
ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー　ＵＳ・コア・エクイティ・ファンド（ＵＳＤアキュムレーション・シェア）	21.7%
ディメンショナル・エマージング・コア・エクイティ・マーケット・ＥＴＦ	15.3%
ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー　ヨーロピアン・バリュー・ファンド（ＵＳＤアキュムレーション・シェア）	2.5%
ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー　ヨーロピアン・スモール・カンパニーズ・ファンド（ＵＳＤアキュムレーション・シェア）	2.4%
コールローン等、その他	4.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

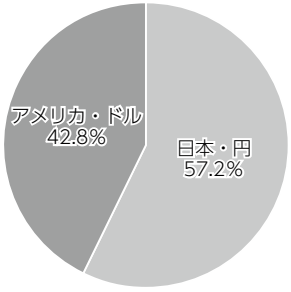
資産別配分（純資産総額比）



国別配分（ポートフォリオ比）



通貨別配分（純資産総額比）



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目		第２期末 2024年６月10日
純資産総額	(円)	42,138,691,181
受益権総口数	(口)	28,754,008,340
１万口当たり基準価額	(円)	14,655

※当期における、追加設定元本額は21,348,315,126円、解約元本額は1,981,707,810円です。

組入上位ファンドの概要

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー　ＵＳ・コア・エクイティ・ファンド（ＵＳＤアキュムレーション・シェア）（2022年12月１日～2023年11月30日）

基準価額の推移以外は投資ファンドを含むシェアクラスで構成された「ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー　ＵＳ・コア・エクイティ・ファンド」の情報で、ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズから提供されたデータに基づき作成しています。

基準価額（アメリカドル建て）の推移

※分配金再投資ベース

基準価額（円換算）の推移

※分配金再投資ベース
※アメリカ・ドル建ての基準価額を日本の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算しています。

組入上位銘柄

（基準日：2023年11月30日）

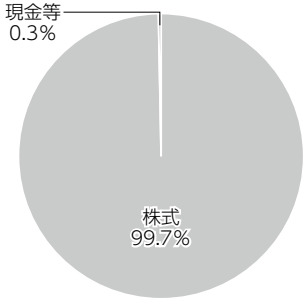
	銘柄名	業種	組入比率
1	Microsoft Corp	情報技術	4.7%
2	Apple Inc	情報技術	4.6%
3	Alphabet Inc	コミュニケーション・サービス	1.9%
4	Amazon.com Inc	一般消費財・サービス	1.6%
5	NVIDIA Corp	情報技術	1.1%
6	Johnson & Johnson	ヘルスケア	1.1%
7	Exxon Mobil Corp	エネルギー	1.1%
8	Meta Platforms Inc	コミュニケーション・サービス	1.0%
9	Eli Lilly & Co	ヘルスケア	1.0%
10	JPMorgan Chase & Co	金融	1.0%
全銘柄数		2,014銘柄	

※比率は株式評価額に対する割合です。
※全銘柄の情報については、運用報告書（全体版）に記載しています。

１万口当たりの費用明細

※単位当たり費用明細は入手できるデータがないため記載していません。

資産別配分（純資産総額比）

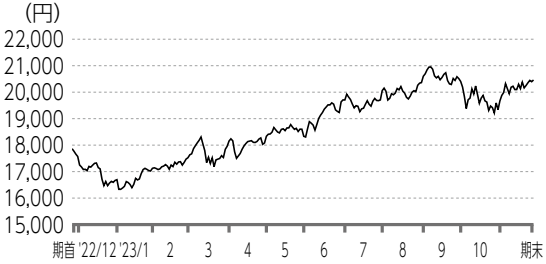


国別配分（ポートフォリオ比）

※国別配分は原則発行国もしくは投資国を表示しています。
※通貨別配分については、入手できるデータがないため記載していません。
※基準日は2023年11月30日です。

いちよし日本中小型株ファンド（適格機関投資家専用）（2022年11月29日から2023年11月28日まで）

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

（単位：円）

項　目	（内訳）	金額（内訳）	
信　託　報　酬	（投信会社）	113	（62）
	（販売会社）		（45）
	（受託会社）		（6）
売買委託手数料	（株式）	54	（54）
そ の 他 費 用	（監査費用）	2	（1）
	（印刷）		（1）
	（その他）		（0）
合計		169	

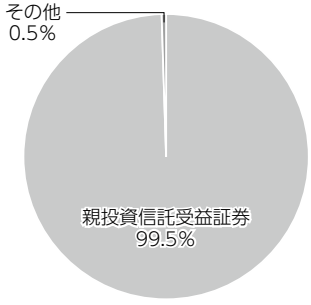
組入ファンド等

（基準日：2023年11月28日）

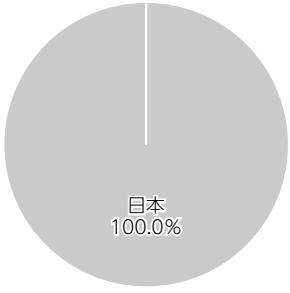
銘柄名	組入比率
いちよし中小型株マザーファンド	99.5%

※比率は純資産総額に対する割合です。
※組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

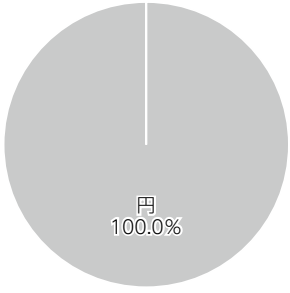
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率は純資産総額に対する割合です。
※国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
※その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

（いちよし中小型株マザーファンド（2022年３月23日から2023年３月20日まで））

基準価額の推移

１万口当たりの費用明細

(単位：円)

項　目	(内訳)	金額（内訳）	
売買委託手数料	(株式)	71	(71)
そ の 他 費 用	(その他)	0	(0)
合計		71	

※上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

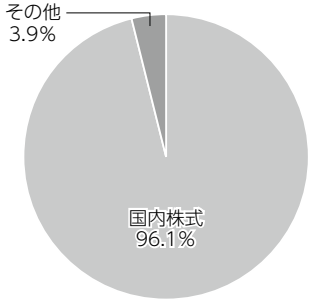
組入上位銘柄

(基準日:2023年３月20日)

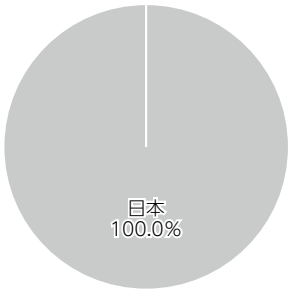
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1	USEN−NEXT HOLDINGS	情報・通信業	円	日本	2.9%
2	MARUWA	ガラス・土石製品	円	日本	2.8%
3	SHOEI	その他製品	円	日本	2.6%
4	三井倉庫ホールディングス	倉庫・運輸関連業	円	日本	2.5%
5	コメダホールディングス	卸売業	円	日本	2.5%
6	芝浦電子	電気機器	円	日本	2.4%
7	パルグループホールディングス	小売業	円	日本	2.3%
8	シンプレクス・ホールディングス	情報・通信業	円	日本	2.3%
9	IDEC	電気機器	円	日本	2.3%
10	メニコン	精密機器	円	日本	2.0%
	全銘柄数		109銘柄		

※比率は純資産総額に対する割合です。
※組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
※国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

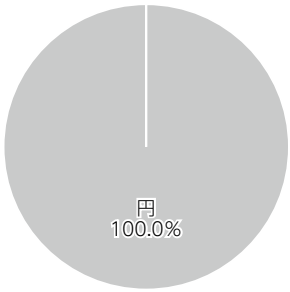
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率は純資産総額に対する割合です。
※国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
※その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
※組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2023年３月20日現在のものです。

ＳＭＤＡＭ日本株ＥＶＩハイアルファ（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家専用）（2023年６月７日から2024年６月６日まで）

基準価額の推移

１万口当たりの費用明細

（単位：円）

項　目	（内訳）	金額（内訳）	
信　託　報　酬	（投信会社）	73	（70）
	（販売会社）		（0）
	（受託会社）		（3）
売買委託手数料	（株式）	27	（27）
そ の 他 費 用	（監査費用）	1	（1）
	（その他）		（0）
合計		101	

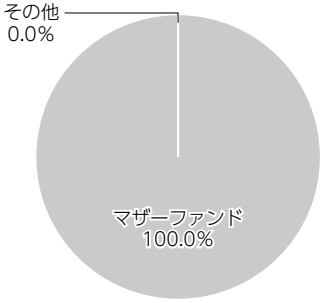
組入ファンド等

（基準日：2024年６月６日）

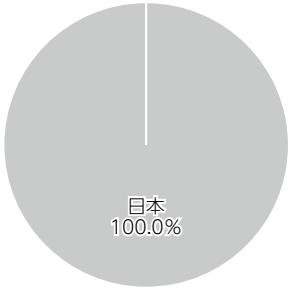
銘柄名	組入比率
日本株ＥＶＩハイアルファマザーファンド	100.0%
コールローン等、その他	0.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

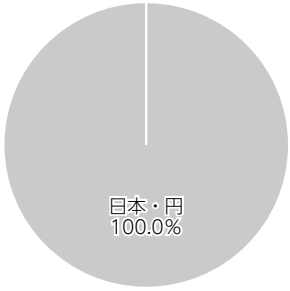
資産別配分（純資産総額比）



国別配分（ポートフォリオ比）



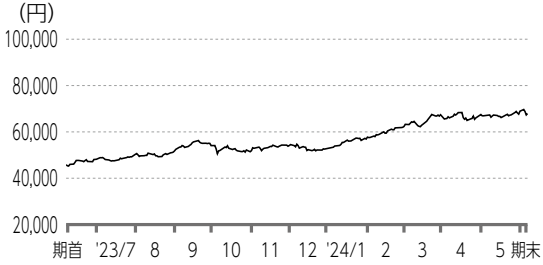
通貨別配分（純資産総額比）



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。
※基準日は2024年６月６日現在です。

（日本株ＥＶＩハイアルファマザーファンド（2023年６月７日から2024年６月６日まで））

基準価額の推移



１万口当たりの費用明細

（単位：円）

項　目	（内訳）	金額（内訳）	
売買委託手数料	（株式）	94	(94)
そ の 他 費 用	（その他）	0	(0)
合計		94	

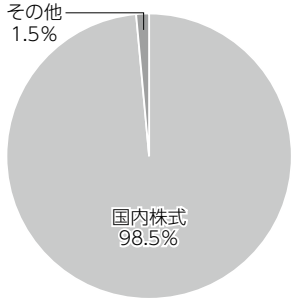
組入上位銘柄

（基準日：2024年６月６日）

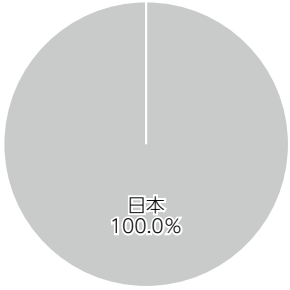
	銘柄名	業種	組入比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	5.0%
2	日立製作所	電気機器	5.0%
3	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	4.1%
4	フジクラ	非鉄金属	4.0%
5	丸紅	卸売業	3.3%
6	三越伊勢丹ホールディングス	小売業	3.3%
7	小松製作所	機械	3.0%
8	ＭＳ＆ＡＤインシュアランスグループホールディングス	保険業	3.0%
9	本田技研工業	輸送用機器	3.0%
10	第一生命ホールディングス	保険業	2.6%
全銘柄数		51銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。
※全組入銘柄につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

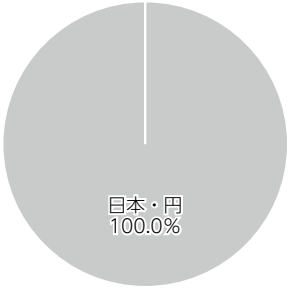
資産別配分（純資産総額比）



国別配分（ポートフォリオ比）



通貨別配分（純資産総額比）



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。
※基準日は2024年６月６日現在です。